



えんどう たかし  
遠藤隆志

特別職・市議会議員の報酬が増額されます

【遠藤】和泉市特別職報酬等審議会の委員構成について問う。

【人事課長】大学教授が2名、税理士が1名、和泉市社会福祉協議会会長、和泉市町会連合会会長、和泉市商工会議所会頭、市民公募の委員が1名、合計7名の委員構成である。

【遠藤】審議会において具体的にどのようなことが議論され、今回の答申結果につながったのか。

【人事課長】本市の特別職給料月額、議員報酬は平成9年以降改定されていない状況で、特別職給料、議員報酬が現状に合ったものであるか検証した結果、特別職や議員の職務・職責に応じた処遇として増額改定が適切であるという見解に至った。その上で、増額する改定率については、一般職の給与改定率や物価の上昇率、人口規模が近接する他団体の水準に均衡させた額など複数のパターンを比較検討した結果、12%の増額が妥当であるとの答申につながった。



【議決結果】

反対3名：賛成19名（欠席者1名） 賛成多数により可決 ※議長は表決しない

議員報酬については、これまで幾度となく議員間での議論を重ねてきましたが、議会としての結論を見出すことができませんでした。そのような中で、今回、議長から報酬審議会に対して諮問の依頼をしたことについてはどの議員からも反対意見や意思表示は全くなかったことから、今回の報酬審議会への諮問については議会としての総意であり、私としても、当時所属していた会派の代表として議長に報酬審議会へ諮問の依頼をした経緯もあることから報酬審議会からの今回の答申については最大限尊重すべきであると考えます。

ただ、私個人としては議員報酬については増額すべきでないと考えており、無所属となった今もその考え方は変えてはおりませんが、議会の総意で報酬審議会に対して、増額を前提としない考え方での議員報酬の在り方についての諮問を依頼しておきながら、その答申結果が自分達の考えと相違するからといって受け入れられないというのは、報酬審議会及び審議会委員に対して敬意を欠く行為であると言わざるを得ません。

以上のことから、総論として本議案自体には賛成をしましたが、この議員報酬の増額分の取扱いについては、今後、実際に増額支給された時点において、市民の皆様方にその方向性をお示しさせていただきます。

# 令和8年度和泉市一般会計予算

一般会計当初予算・904億円 対前年度72億円増

## 【令和8年度に取り組み主要な事業】

- ◇国府幼稚園と和泉保育園を統合し、(仮称)いずみ国府こども園の令和9年度開園に向けた整備
- ◇地域の移動手段確保を目的とした、阪和線西エリアにおける有償デマンド型交通の実証運行
- ◇漏水による二次被害の防止を図るため、人工衛星画像解析技術を活用した漏水調査の実施
- ◇多様化するスポーツに対応するため、(仮称)北部総合スポーツ公園基本計画を策定
- ◇光明台中学校校区での施設一体型義務教育学校の導入等学校適正配置について地域と意見交換を実施
- ◇(仮称)富秋学園の令和9年4月開校に向けた新校舎整備、通学路安全対策、給食委託化等の準備
- ◇史跡池上曾根遺跡の賑わいを創る、(仮称)池上プレイステージにおいて、多目的広場の一部オープン
- ◇黒鳥山公園に飲食が可能な民間施設を令和8年度にオープンさせる等、駐車場やエントランスの整備



(仮称) いずみ国府こども園



(仮称) 富秋学園



(仮称) 池上プレイステージ多目的広場



黒鳥山公園内 飲食店舗 (イメージベース)

## 予算審査特別委員会【質疑】

### がん患者等医療用ウィッグ購入助成費

【遠藤】名称が「がん患者」から「がん患者等」に変更されている理由を伺う。

【健康増進担当課長】対象患者の拡大を行うにあたり、名称を変更している。

【遠藤】以前から何度も対象拡大を要望してきたことから、今回の対象拡大については感謝する。今後申請者が増加するようであれば臨機応変の対応をお願いします。

### 久保惣記念美術館のバリアフリーについて

【遠藤】バリアフリー対応についての考えは。

【館長代理】構造上の制約や敷地条件の制限があることから、段差解消などについて全面的な解消を行う事が物理的に困難な部分がある。しかしながら、バリアフリー対応は極めて重要であるため、可能な限り、段差解消、案内表示板の改善、多目的トイレの機能向上などを検討していく。

【遠藤】バリアフリー化については様々なハードルがあることは理解しているが、久保惣記念美術館は市の公共施設であるので、その点を考慮いただいて、まずは出来ることから適切な対応をとっていただけるよう要望する。

### 学校配当予算について

【遠藤】学校における消耗品や備品を購入する予算については、PTA会費からの安易な使用を慎むべきと何度も指摘してきた。令和8年度は各学校に対してどの程度増額されているのか。

【教育施設担当課長】一校あたり15万円を増額し、小学校費で300万円、中学校費で150万円増額計上した。

【遠藤】一校あたり15万円ではあるが、学校配当予算が増額されことについて嬉しく思う。今後も、引き続き物価の状況等を注視しつつ、必要な予算を確保いただけるよう要望する。

### 子ども・子育て支援納付金について

【遠藤】子ども・子育て支援納付金の必要性は理解するが、なぜ医療保険料から徴収するのか。

【国保担当課長】子ども・子育て支援制度は、社会全体で子育て世代を支える新しい分かち合い・連帯の仕組みであり、理念を同じくする社会保険制度の中でもカバー範囲が広いことなどから、医療保険の徴収ルートを使う。

【遠藤】国民皆保険制度を巧みに利用しての徴収方法については、大いに疑問である。

### 【プロフィール】

- ・1958年6月、和泉市黒鳥町に生まれる
- ・伯太小学校入学/黒鳥小学校/和泉中学校/府立登美丘高校/大阪商業大学卒業
- ・元黒鳥小学校PTA会長/元和泉中学校PTA本部役員
- ・元府議会議員秘書/元衆議院議員公設第一秘書
- ・2016年9月、和泉市議会議員初当選/2020年9月、2期目当選/2024年9月、3期目当選
- ・都市環境委員会委員/予算審査特別委員会副委員長/和泉市財産評価審査委員会委員
- ・大阪拉致議連幹事/和泉市防犯協議会黒鳥支部相談役/黒鳥町第三町会顧問

